

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和4年7月1日発行

No.4

よさが見えた校外学習

第1学年主任 岩本 和馬

5月27日（金）に、1年生としては初めての中学校生活での大きな行事となる校外学習を行いました。今年度の校外学習の目標は大きく三つありました。一つ目は、学級、学年の絆を深めること。二つ目は、公共の場でのルールやマナーについて考え、実践すること。三つ目は、校外学習を通して学んだことをこれから日常につなげることです。もちろん、この三つの目標については、結果として予想以上に多くのことを学び、成果をあげることができました。特に、学級、学年の絆を深めることについては、この校外学習を通じて、学級、学年に「連帯感」を生み出すことができました。



この「連帯感」を生むことができたのは、第77期生の皆さんが「自分たちで創る」ということを大切に、試行錯誤しながら限られた時間で「よりよい」一日を創りあげようという強い意志があり、最後まで諦めずに努力を重ねた成果だと思います。教師がつくった行程や各係の役割を「こなす」のではなく、目的を考え、仲間と活動を吟味し、活動を進めることができました。第77期生112名がそれぞれ「思い」をもって準備し、活動したからこそ、お互いを支え合い、目標に向かって協力する「連帯感」が生まれることにつながったと思います。

また、今回の校外学習を振り返り、改めて感心したことがあります。それは、第77期生の皆さんの前向きな姿勢です。校外学習当日の雨の予報に伴って、計画を見直し、これまで進めてきた活動の一部を変更することになりました。そのような状況でも、「それは仕方ないよ」「それはそれで楽しそう」といった仲間どうしで気持ちを切り替える言葉掛けや「ご準備ありがとうございます」といった先生方を労わる言葉掛けをしてくれる生徒も見られました。生徒が「思い」をもって準備を進めてきていた分、変更を切り出しづらかった私にとって救われた思いを感じたとともに、第77期生のよさが見えた瞬間でした。またそれは、当日の活動も同様でした。雨天の中で思ったようにフィールドワークを行うこと

ができない状況にも関わらず、ただその中でも調査できることは何かないか考え、班員と協力し、情報収集する姿が見られました。また、炊事活動においても、調理計画を基に、その場の状況に合わせて役割分担を変更したり、思ったより時間に余裕が生まれた分、調理工程に一手間加えたりするなど、機転を利かせ柔軟に対応する姿が見られました。「自分たちで創る」ということを大切にしてきたからこそ、逆境においても前向きに進むことにつながったと思います。



今回の校外学習では様々な困難がありましたが、第 77 期生のよさが発揮された価値のある校外学習になったと思います。この学びを、これからの生活につなげ、よりより集団を創っていくことを願っています。

学年レク～大縄跳びの様子

避難訓練を終えて

生徒指導部長 山田 浩之

今年度は、津波の発生も視野に入れた極めて大きな地震の発生を想定した避難活動を行いました。私たちの生活する北海道は、約 350 年周期でマグニチュード 8.0 クラスの極めて大きな地震が発生するばかりでなく、津波も発生していることが分かっています。さらに、前回の巨大地震が 400 年前の発生であり、いつ発生してもおかしくない状況に到達していると言われ、国や地方公共団体では、北海道沿岸部に津波タワーの設置を急いでいるところです。

本校は、広域通学であるため、指定避難所としての機能は持ち併せておりません。そのため、大型の地震が発生した場合、大学と連携し、安全に大学の高層階に避難し、その後の余震や二次災害からお子様を守る必要が出てくる場合があります。今回は、そのような巨大地震やその後の二次災害から身を守ることを前提とした、大学敷地内への避難を実施しました。

生徒の様子としましては、私語無く素早く移動する様子や、駆け足で敷地外から大学へ移動する様子が見られ、目的に沿った行動を忠実に行う姿勢が立派であったと感じています。例年避難場所として活用したバスベイに避難する時間と大差なく、大学正門前まで移動できていたことから、その様子がわかります。

しかし、安全な避難について考え、最適な行動につなげることができたからといって、それで大丈夫だという判断にはならないと考えます。実際に自らの身に危険が及ばないと、見えないことやわからないことがあります。どのような場面においても、最低限として、自助＝自分の身は自分で守ること、そしてさらに、共助＝共に学び合う仲間と助け合いながら身を守り合うことが必要となってくることでしょう。

地震に限らず、大きな災害は常に「待ったなし」でやってきます。状況に応じた正しい避難の在り方を生徒、教師で共有しながらお子様の安全確保に努めて参



ります。ご家庭の中でも、この機会に防災について考えたり、見直したりしていただくとありがたいです。

■「オンライン生徒総会」

今年度の生徒総会もオンラインで開催しました。役員会・議長会・委員会・専門局会の代表者の説明が各クラスのテレビに映し出され、それに対する質疑応答はPCを通じてリアルタイムで行いました。本校には、全生徒が委員会・局会に所属するという特徴が



があります。それにより全ての生徒が、より主体的に生徒会活動に関わることができます。今回のオンライン生徒総会では、建設的な意見がたくさん出され、活動計画をよりよいものにすることができました。

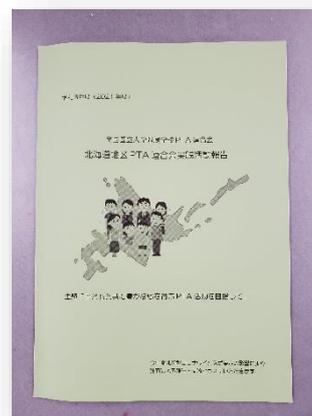
■「授業参観／学年・学級PTA懇談会」

3年ぶりに対面で授業参観を行いました。第3学年の生徒は初めて対面での授業参観になります。保護者の方にも、オンラインでは伝えきれない授業の雰囲気や、お子さまの授業に臨む姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。また、学年・学級PTAでは、旅行的行事の様子や、これからの学校生活で大切にしていきたいことなどをお伝えしました。多くの保護者の方にご参加いただきありがとうございました。



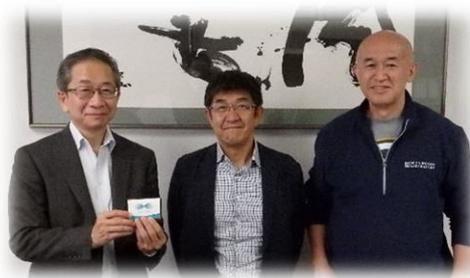
■「北海道地区PTA連合会総会・実践活動協議会」

6月7日、北海道地区PTA連合会総会・実践活動協議会（道附P連）が今年度も、オンラインで行われました。道附P連は、札幌・函館・旭川・釧路の幼・小・中計12団体が、互いのPTA活動について交流する場です。本校からは、PTA役員が参加し、昨年度の実践を報告しました。どの団体も、コロナ禍の中でも取り組めるPTA活動を目指し、工夫した取組を行っていました。それぞれを活動のよい点を参考にしながら、よりよいPTA活動を目指していきたいと感じました。



■図書カードを寄贈していただきました。

本校第23期卒業生の松田 晃（まつだ あきら）様と竹田勝男（たけだ かつお）様から図書カードを寄贈していただき



ました。お二人は、後輩である在校生にたくさんの書籍に触れてほしいとの思いより、これまで何年にもわたって図書カードを寄贈してくださっております。今後、図書館のみなさんには、素敵な本を選んで購入してほしいと思います。松田様と竹田様の想いを受け取って、自分の世界を広げる読書に挑戦してください。松田様、竹田様ありがとうございました。

7月の行事予定

日（曜日）	行事等の予定	下校バス時刻（予定）
1（金）	藤華祭PJ 決め 委員会・専門局会	16：20
2（土）	中体連（ソフトテニス） 部活動可	
3（日）	中体連（バスケットボール） 部活動可	
4（月）	合唱祭（指揮者・伴奏者・自由曲決め）	16：20
5（火）		16：20
6（水）	【研究日】	16：20
7（木）	藤華祭PJ ①	16：20
8（金）	附属小学校教育研究大会（通常日課）	16：20
9（土）	部活動可	
10（日）	中体連（バスケットボール） 部活動可	
11（月）		16：20
12（火）	【職員会議】	15：20
13（水）	【研究日】	16：20
14（木）	藤華祭PJ ②	16：20
15（金）	ふじのめ学級教育研究大会（通常日課）	16：20
16（土）	部活動可	
17（日）	部活動可	
18（月）	部活動可 海の日	
19（火）		16：20
20（水）		16：20
21（木）	藤華祭PJ ③	16：20
22（金）		16：20
23（土）	部活動可	
24（日）	部活動可	
25（月）	（5時間日課）	15：20
26（火）	夏季教育研究大会（5時間日課）	15：20
27（水）	夏季休業前集会 前期期末テスト範囲表配付	14：20
28（木）	夏季休業日（～8/18） 部活動不可	